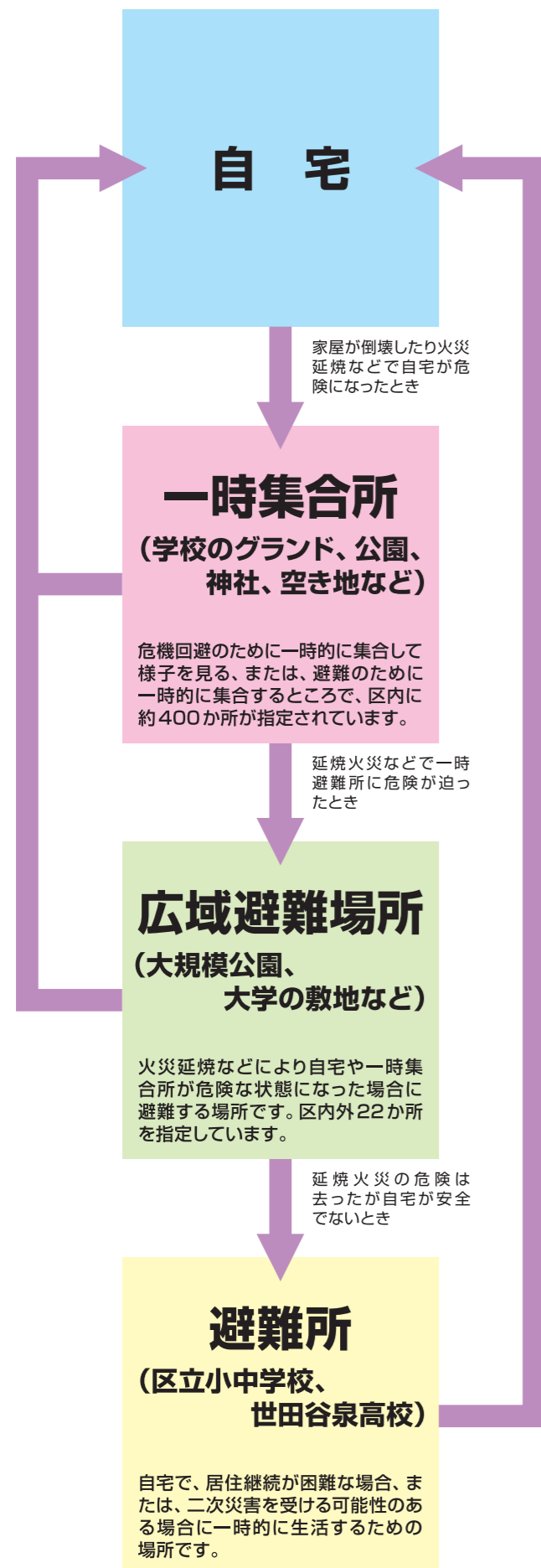


避難はこうする

危険が去り自宅が安全なとき



火災などの危機は去ったが自宅が安全でないとき

地震 その時 10 のポイント

地震時の行動

地震だ！ まず身の安全

揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

高層階（概ね10階以上）での注意点

高層階では、揺れが数分続くことがある。大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。

地震直後の行動

落ち着いて 火の元確認 初期消火

火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。出火した時は、落ち着いて消火する。

あわてた行動 けがのもと

屋内での転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。

窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難できるような出口を確保する。

門や塀には 近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。

地震後の行動

火災や津波 確かな避難

地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。

- 避難場所：地震などによる火災が発生し、地域全体が危険になったときに避難する場所
- 一時（いっとき）集合場所：近隣の人が一時的に集合する場所

正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。

協力し合って 救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。

避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

用賀商店街 安全安心 マップ

発行 用賀商店街振興組合

防災編



もしものとき、必要な情報はこうして手に入れる

大地震や台風など、大きな災害が発生した直後は、家族の安否、避難情報、ライフライン・交通情報など様々な情報が必要になります。また、テレビなどからの情報が遮断され、根拠のない不確定な情報が広がることも想定されます。次のような方法で、正確な情報を手に入れるようにしましょう。

◆テレビ・ラジオ

地震情報、余震情報を知ることができます。放送には、常に注意を傾けましょう。

◆エフエム世田谷（周波数83.4MHz〈メガヘルツ〉）

区内の地震情報、被害情報、安否情報など、被災時に必要な情報を得ることができます。

◆ケーブルテレビ

ケーブルテレビ各社では、3つのエリアで区内の身近な災害情報を提供しています。イツ・コミュニケーションズ、ジェイコム関東（せたまち局、調布局）の2社です。

◆防災行政無線

区内187ヶ所に設置された防災無線塔からの放送により、地震情報や余震情報などをお知らせします。

◆災害情報テレホンサービス

気象情報など、区からの災害に関する情報をお聞きになれます。

TEL 0180-99-3151（通話料がかかります）

◆各種ホームページ

区では各種ホームページを通して、平常時の防災情報や大規模災害時の災害情報を提供しています。

・区ホームページ

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp>

・世田谷区危機・災害対策情報ホームページ

区トップページから「災害対策・安全安心」をクリック

・世田谷区大規模災害時専用ホームページ

<http://setagaya.sdiss.info/index.htm>

◆災害・防犯情報メール配信サービス

あらかじめメールアドレスを登録された方を対象に、地震、風水害、土砂災害等の災害情報や防犯情報が配信されます。登録方法は、

<http://www.bousai-mail.jp/setagaya/>

をご覧ください。（パソコン・電話共通）

◆広報車

区の広報車が直接地域を巡回し、避難情報などをお知らせします。